

## 履修モデル [2014 (平成26) 年度以前の入学生]

### 将来、食品としての農産物の管理や流通の分野をめざす

想定される具体的な進路・職種	食品会社、流通会社
----------------	-----------

学部で開講される生物学や農学の専門科目のほかに、1年次に全学共通教育部門で開講される人間と社会科目群の科目や1年次から3年次に学部で開講される「経営・経済学系」の科目を学習することによって食品としての農産物の管理や流通に関する幅広い知識を身に付け、また、情報技術関連の科目や語学を学習することによって高い情報収集力を身に付け、民間の農産物食品の利用・流通にかかわる職業、民間・国公立試験機関や大学の技術者・研究者をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分	授業科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
全学共通教育部門	人間と文化科目群	●アジア文化論 ●文化人類学の世界			
	人間と社会科目群	●日本国憲法 ●国際化時代の人間と社会			
	自然と環境科目群	●物質の成り立ち ●生命の多様性			
	言語コミュニケーション科目群	●英語基礎 I (リーディング) ●英語基礎 II (リーディング) ●英語基礎 I (コミュニケーション) ●英語基礎 II (コミュニケーション)	●英語初級 I - I (リーディング) ●英語初級 I - II (リーディング) ●英語初級 I - I (コミュニケーション) ●英語初級 I - II (コミュニケーション)		
	情報技術科目群	●コンピュータリテラシー ●情報活用リテラシー			
	健康とスポーツ科目群	●健康・スポーツ科学 I ●健康・スポーツ科学 II			
専門部門	基礎教育科目群	●生物学 ●化学 ●化学実験 ●生物学実験		●科学英語 I ●科学英語 II	
	学系共通	●生物資源学概説 ●作物生産科学 ●生物化学 ●農場実習A ●農場実習B ●植物分類・形態学 ●動物分類・形態学 ●微生物学 ●有機化学	●生命科学の技術 ●植物生理学 ●生物資源統計学 I ●生物資源学実験 ●生物資源統計学 II	●農場実習D ●ゼミナール I ●農場実習E	●卒業研究 ●ゼミナール II

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
生物生産学系	●園芸学	●食用作物学 ●果樹園芸学 ●野菜園芸学 ●花き園芸学	●作物学実験 ●園芸学実験 ●栽培環境調節学 ●園芸利用学 ●土壌学 ●基礎動物生産学 ●熱帯農業論 ●資源植物学 ●肥料学	
遺伝育種学系		●遺伝学 ●育種学	●遺伝育種学実験	
生物保護学系		●基礎昆虫学 ●植物病理学	●植物病理学実験 ●昆虫学実験 ●農業環境微生物学 ●応用昆虫学 ●植物病害防除論 ●農薬学	
経営・経済学系		●生物生産経営学	●生物生産経営学演習 ●農政学 ●食品経済学	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

### 将来、農業技術者・研究者をめざす

想定される具体的な進路・職種	農業協同組合、各種試験機関
----------------	---------------

1年次で開講される生物学の基礎科目や2、3年次に開講される「生物生産学系・遺伝育種学系・生物保護学系」の専門分野を学習することによって作物生産に関する幅広い知識と最新の研究手法を身に付け、また、情報技術関連の科目や語学を学習することによって高い情報収集力を身に付けるとともに農場実習により実践的農学の知識を身に付け、民間（農協や企業）・国立試験機関や大学の農業技術者や農学研究者などの職業をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
全学共通教育部門	人間と文化科目群	●アジア文化論 ●文化人類学の世界		
	人間と社会科目群	●日本国憲法 ●国際化時代の人間と社会		
	自然と環境科目群	●物質の成り立ち ●生命の多様性		
	言語コミュニケーション科目群	●英語基礎 I (リーディング) ●英語基礎 II	●英語初級 I - I (リーディング) ●英語初級 I - II	

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
	(リーディング) ●英語基礎Ⅰ(コミュニケーション) ●英語基礎Ⅱ(コミュニケーション)	(リーディング) ●英語初級Ⅰ-Ⅰ(コミュニケーション) ●英語初級Ⅰ-Ⅱ(コミュニケーション)		
情報技術科目群	●コンピュータリテラシー ●情報活用リテラシー			
健康とスポーツ科目群	●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ			
専門部門	●生物学 ●化学 ●化学実験 ●生物学実験		●科学英語Ⅰ ●科学英語Ⅱ	
学系共通	●生物資源学概説 ●作物生産科学 ●生物化学 ●農場実習A ●農場実習B ●植物分類・形態学 ●動物分類・形態学 ●微生物学 ●有機化学	●生命科学の技術 ●植物生理学 ●代謝生理学 ●細胞工学 ●生物資源統計学Ⅰ ●生物資源学実験 ●生物資源統計学Ⅱ	●農場実習D ●ゼミナールⅠ ●農場実習E	●卒業研究 ●ゼミナールⅡ
生物生産学系	●園芸学	●食用作物学 ●果樹園芸学 ●野菜園芸学 ●花き園芸学	●作物学実験 ●園芸学実験 ●栽培環境調節学 ●園芸利用学 ●土壌学 ●基礎動物生産学 ●熱帯農業論 ●資源植物学 ●肥料学 ●動物生産学各論	
遺伝育種学系		●遺伝学 ●育種学 ●細胞生物学	●遺伝育種学実験	
生物保護学系		●基礎昆虫学 ●植物病理学	●植物病理学実験 ●昆虫学実験 ●農業環境微生物学 ●応用昆虫学 ●植物病害防除論 ●農薬学 ●雑草学	
経営・経済学系		●生物生産経営学	●生物生産経営学演習	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要

です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

## バイオテク技術をつかって作物の品種改良をめざす

想定される具体的な進路・職種	研究者・技術者
----------------	---------

1年次で開講される生物学の基礎科目、2、3年次に開講される「遺伝育種学系・生物生産学系」の専門科目を学習することによって、植物の性質を分子生物学的に改変するためのさまざまなバイオテク技術を身に付け、また、情報技術関連の科目や語学を学習することによって高い情報収集力を身に付け、大学・国公立・民間試験機関のバイオテク研究者・技術者などの職業をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分	授業科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
全学 共通 教育部門	人間と文化科目群	●アジア文化論 ●文化人類学の世界			
	人間と社会科目群	●日本国憲法 ●国際化時代の人間と社会			
	自然と環境科目群	●物質の成り立ち ●生命の多様性			
	言語コミュニケーション科目群	●英語基礎Ⅰ（リーディング） ●英語基礎Ⅱ（リーディング） ●英語基礎Ⅰ（コミュニケーション） ●英語基礎Ⅱ（コミュニケーション）	●英語初級Ⅰ-Ⅰ（リーディング） ●英語初級Ⅰ-Ⅱ（リーディング） ●英語初級Ⅰ-Ⅰ（コミュニケーション） ●英語初級Ⅰ-Ⅱ（コミュニケーション）		
	情報技術科目群	●コンピュータリテラシー ●情報活用リテラシー			
	健康とスポーツ科目群	●健康・スポーツ科学Ⅰ ●健康・スポーツ科学Ⅱ			
専門 部門	基礎教育科目群	●生物学 ●化学 ●化学実験 ●生物学実験		●科学英語Ⅰ ●科学英語Ⅱ	
	学系共通	●生物資源学概説 ●作物生産科学 ●生物化学 ●農場実習A ●農場実習B ●植物分類・形態学 ●動物分類・形態学 ●微生物学 ●有機化学	●生命科学の技術 ●植物生理学 ●代謝生理学 ●細胞工学 ●生物資源統計学Ⅰ ●生物資源学実験 ●生物資源統計学Ⅱ	●ゼミナールⅠ	●卒業研究 ●ゼミナールⅡ

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
生物生産学系	●園芸学	●食用作物学 ●果樹園芸学 ●野菜園芸学 ●花き園芸学	●作物学実験 ●園芸学実験 ●栽培環境調節学 ●園芸利用学 ●土壌学 ●基礎動物生産学 ●熱帯農業論 ●資源植物学 ●肥料学	
遺伝育種学系		●遺伝学 ●育種学 ●細胞生物学	●遺伝育種学実験	
生物保護学系		●基礎昆虫学 ●植物病理学	●植物病理学実験 ●昆虫学実験 ●農業環境微生物学 ●応用昆虫学 ●植物病害防除論 ●農薬学 ●雑草学	
経営・経済学系		●生物生産経営学	●生物生産経営学演習	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

## 教員をめざす

想定される具体的な進路・職種	高等学校教諭一種免許状（理科、農業）・中学校教諭一種免許状（理科）
----------------	-----------------------------------

1年次で開講される生物学や化学の基礎科目、2、3年次に開講される「遺伝育種学系・生物生産学系・生物保護学系」の専門科目を幅広く学習することによって生物学や化学の基礎的な知識と技術を身に付け、さらに、教職課程の科目を学ぶことによって、高等学校や中学校における教育に関する知識や技術を身に付け、高等学校教諭一種免許状（理科、農業）および中学校教諭一種免許状（理科）を取得し、教員をめざす人のための履修モデルです。

●：選択科目 ●：選択必修科目 ●：必修科目

区分		授業科目			
		1年次	2年次	3年次	4年次
全学共通教育部門	人間と文化科目群	●アジア文化論 ●文化人類学の世界			
	人間と社会科目群	●日本国憲法 ●国際化時代の人間と社会			
	自然と環境科目群	●物質の成り立ち ●生命の多様性			
	言語コミュニケーション科	●英語基礎 I（リーディング）	●英語初級 I - I（リーディング）		

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語基礎Ⅱ（リーディング）</li> <li>●英語基礎Ⅰ（コミュニケーション）</li> <li>●英語基礎Ⅱ（コミュニケーション）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語初級Ⅰ-Ⅱ（リーディング）</li> <li>●英語初級Ⅰ-Ⅰ（コミュニケーション）</li> <li>●英語初級Ⅰ-Ⅱ（コミュニケーション）</li> </ul>		
情報技術科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンピュータリテラシー</li> <li>●情報活用リテラシー</li> </ul>			
健康とスポーツ科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康・スポーツ科学Ⅰ</li> <li>●健康・スポーツ科学Ⅱ</li> </ul>			
専門部 群	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物学</li> <li>●地学</li> <li>●化学</li> <li>●化学実験</li> <li>●物理学</li> <li>●生物学実験</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●科学英語Ⅰ</li> <li>●科学英語Ⅱ</li> </ul>	
学系共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物資源学概説</li> <li>●作物生産科学</li> <li>●生物化学</li> <li>●農場実習A</li> <li>●農場実習B</li> <li>●植物分類・形態学</li> <li>●動物分類・形態学</li> <li>●微生物学</li> <li>●有機化学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生命科学の技術</li> <li>●植物生理学</li> <li>●生物資源統計学Ⅰ</li> <li>●生物資源学実験</li> <li>●生物資源統計学Ⅱ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農場実習D</li> <li>●ゼミナールⅠ</li> <li>●農場実習E</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業研究</li> <li>●ゼミナールⅡ</li> </ul>
生物生産学系	<ul style="list-style-type: none"> <li>●園芸学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食用作物学</li> <li>●果樹園芸学</li> <li>●野菜園芸学</li> <li>●花き園芸学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●作物学実験</li> <li>●園芸学実験</li> <li>●栽培環境調節学</li> <li>●園芸利用学</li> <li>●土壌学</li> <li>●基礎動物生産学</li> <li>●熱帯農業論</li> <li>●資源植物学</li> <li>●肥料学</li> </ul>	
遺伝育種学系		<ul style="list-style-type: none"> <li>●遺伝学</li> <li>●育種学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遺伝育種学実験</li> </ul>	
生物保護学系		<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎昆虫学</li> <li>●植物病理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●植物病理学実験</li> <li>●昆虫学実験</li> <li>●農業環境微生物学</li> <li>●応用昆虫学</li> <li>●植物病害防除論</li> <li>●農薬学</li> </ul>	
経営・経済学系		<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物生産経営学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物生産経営学演習</li> <li>●農政学</li> <li>●食品経済学</li> </ul>	

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
教職関係科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職入門</li> <li>● 教育心理学</li> <li>● 教育原論</li> <li>● 教育課程論</li> <li>● 生徒・進路指導論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道徳教育の研究</li> <li>● 教育方法論</li> <li>● 【理科】物理学実験 I</li> <li>● 【理科】地学実験 I</li> <li>● 教育行政論</li> <li>● 【理科】理科教育の研究 I</li> <li>● 特別活動の研究</li> <li>● 学校教育相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【理科】理科教育の研究 II</li> <li>● 【農業】農業科教育の研究</li> <li>● 【農業】職業指導論 I</li> <li>● 【理科】理科授業研究</li> <li>● 【農業】農業科授業研究</li> <li>● 教育実習の研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育実習 I</li> <li>● 教育実習 II</li> </ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。